

江戸歴史講座第 32 回 徳川家康没後 400 年記念

江戸城と江戸のまちづくり



「江戸図屏風」 国立歴史民俗博物館所蔵

千代田区立日比谷図書文化館では、数々の復原設計などで知られる日本工業大学学長の波多野純氏をお招きして講演会を開催いたします。

講座概要

江戸は、天正 18 年（1590）の徳川家康関東入国から大きく発展し、18 世紀には世界一の大都市となった。江戸城そして江戸のまちづくりを、『江戸図屏風』などの絵画資料、自らが設計した両国橋西詰広小路などの復原模型、当時の大工が残した図面などから読み解く。すると、そこに、武士の町から町人の町へと、大きく進展する江戸の魅力と、それを担った人々の姿が見えてくる。

講師



波多野 純

日本工業大学学長。東京工業大学建築学科卒。工学博士。足利学校・長崎出島・佐賀城本丸御殿など歴史的建築の保存・修復・復原や、江戸橋広小路（国立歴史民俗博物館）・両国橋西詰広小路（江戸東京博物館）などの復原模型の設計にたずさわる。

開催概要

- 日時：2015 年 7 月 1 日（水）19:00～20:30（受付 18:30～）
- 会場：日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200 名/（申込順）
- 参加費：1,000 円（千代田区民 500 円）※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください。
- 申込方法：来館（1 階受付）、電話（03-3502-3340）、E メール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
 - ① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。